見沼２

多機能型大谷事業所

（社会福祉法人ななくさ）

１　施設の概要

定　　員	就労移行支援事業　　１８人 就労継続支援Ｂ型　　４２人
所在地	さいたま市見沼区 大谷１２６４ https://goo.gl/xZWpZs
アクセス	【大宮駅・東口をご利用の場合】 国際興業バス「大谷県営住宅・東部リサイクルセンター」行き 「大谷」停留所下車　徒歩５分 【北浦和駅・東口をご利用の場合】 東武バス「宮下・岩槻駅」行き 「大谷日生住宅前」停留所下車　徒歩５分
連絡先	TEL：048-683-8440 FAX：048-688-9031
開設日	平成１２年４月１日
開所日時	月曜日～金曜日　9:00～16:45 (月１回程度、土曜日の開所あり)

平均年齢	就労移行支援事業　２６歳 就労継続支援Ｂ型　３９歳 最年少：１９歳 最年長：７４歳
送　　迎	七里駅、北浦和駅より送迎バスあり
食事提供	あり （１食あたり３６０円の負担あり）
賃金・工賃	移行支援事業　　10,376円 継続支援事業　　17,793円 （令和２年度平均工賃）
入　　浴	なし
車いす	受入可
医療的ケア	なし
その他設備	エレベーター　　あり ユニバーサルシート （大人用ベッド）　なし

２　施設の運営方針・理念

村松施設長

社会福祉法人ななくさでは、障害者や高齢者などすべての方々が尊厳をもって自分らしく豊かな生活を送るための福祉を目指し、安心と信頼をいただけるより高い福祉サービスを総合的に提供していけるよう、障害福祉サービス『多機能型大谷事業所』、特別養護老人ホーム『えくぼ』の運営を行っています。

多機能型大谷事業所では『企業就労を目指して働く力を身に付ける作業訓練の場であること』、『働く喜びと期待を抱きながら働ける場であること』、『生活力を高め、将来仲間と共に暮らすための社会生活訓練の場であること』を目的として

①社会人として就労に結びつくための技術、姿勢を身に付けて頂くための支援。

②実社会の生活経験を増やして社会適応性の向上を図ることができるようになるための支援。

③日常生活習慣及び協調性を養い、自立への意欲向上を図ることができるようになるための支援。

④お互いを認め合い、助け合い、協力し合える心を育むための支援。

以上４つの支援を基本的な方針として取り組んでいます。

３　事業内容の紹介

就労移行支援事業

●就労移行支援事業の目的

・企業就労を目指して基本的な就業技能を身に付けるとともに就労生活に必要な社会生活技術の向上及び安定的な意思の育成を図ります。

・２年間で一般企業への就労を目指しています。

●具体的な活動内容

（１）屋内作業

①手先を使う作業として目薬箱の箱作りを行っています。

②千年灸のシートの検品を行っています。

③名刺・商品ラベルの作成及び各種印刷

（名刺ソフトを使っての名刺作成や商品のラベル作成と年賀はがきなどの印刷を行っています）

④封入作業などのスポット作業も行っています。

（２）施設外作業

①さいたま市市営霊園「思い出の里」の植栽管理等業務を行います。

②企業と業務委託契約を行い、清掃業務を行います。また、現場での実践力の向上を目指し企業等での作業を行ないます。

（３）活動の時間

①就労について：就職に必要な知識や、就職後の就労生活について学びます。

②技術向上について：企業から求められる技術の習得と向上を目指します。前期は基本的な技術を重点に行い、後期は希望職種に応じた技術の習得を目指します。

③学習：就職活動や就労生活に必要となる「計算（お金含む）、読み書き、言葉使い、話の聴き方、時間、空間と位置」等の習得を目指します。

※活動の時間を通じて就労生活の充実と社会性を身に付けるために上記のプログラムに取り組んでいます。

（４）主な就職先

物流関係（４人）高齢者施設関係（１人）特例子会社（５人）食品関係（４人）、
医療関係（４人）農業関係　　（４人）販売（自動車）関係（３人）（過去５年）

見沼２

就労継続支援事業Ｂ型

●就労継続支援事業Ｂ型の目的

・働く生活を通して将来の自立生活に必要な知識や技術の育成を目指します。

・集団生活を通してコミュニケーション力の向上を図るとともに日常生活習慣の確立及び協調性を養い、自立への意欲向上を図ります。

●具体的な活動内容

（１）屋内作業

①アメニティグッズの検品

（ホテルで使用されるアメニティグッズの検品及び梱包作業をしています）

②アームカバー作り

（医療や警察で使っている使い捨てアームカバーを作っています）

（２）施設外作業

①さいたま市市営霊園「思い出の里」「青山苑」の植栽管理等業務を行っています。

②企業、公的機関等と業務委託契約を行い、清掃業務、除草業務を行います。(埼玉スタジアム２００２、浦和競馬等)

（３）屋外作業

①　農園芸生産

＊季節に応じたポット花を苗から育てて販売に行ったり、畑で農作物を作ったりしています。鉢花と野菜は事業所入口の売店や地域祭事の際に直接販売を行っています。

②　除草作業

企業や家庭の庭などの除草作業を行っています。草刈り機や手作業で丁寧に行っています。

③　焼き芋販売

冬期に事業所内の販売所にて事業所で栽培したさつまいもを中心に焼き芋を事業所内の売店にて販売をしています。

４　事業の紹介写真

就労移行支援事業・就労継続支援事業Ｂ型　共通

作業の他に、月一度のクラブ活動、委員会活動などがあります。
クラブ活動は更なる余暇活動の充実を目的として行っています。
委員会活動は“自分たちの施設の事で出来る事は自分たちで行う”という事を目的に実施しています。例えば写真のように美化委員会ではトイレスリッパの洗浄を行うなどしています。

就労移行支援事業

【室内作業】作業を行なう上でのマナーやルール、技術を得るための職業訓練として取り組みます。

【屋外作業】企業等で掃除を中心とした作業活動を行い、より職場での実践的な作業訓練を行います。

【活動の時間】労働の意義、社会性や会社でのルール等を学び就労生活の充実を図るために、面接の練習、履歴書を書く練習、パソコン入力、体力をつけるための運動などを行います。

就労継続支援事業Ｂ型

【室内作業】綿棒やシャワーキャップ等のアメニティグッズの中にごみ等がないかの検品を行ない、その後にアメニティグッズを缶の中に入れたり、ウォッシュボールの検品、出荷などを行います。

【室内作業】給食センター、医療、警察などで使っている使い捨てのアームカバーにゴムをつけてシーラーを使って作成しています。

【屋外作業】近隣施設と協働で作業を行ない、作業を通じて協力して行う大切さと作業技術を学んでいます。市営霊園内、埼玉スタジアム２００２内の掃き掃除や枯れ花の回収、ごみの分別回収、除草作業などを行います。

【ハウス作業】畑作業では季節の野菜を育成しています。販売を目的に生産していますが、育成した野菜を通じて食についての大切さについて学ぶ機会ともしています。

【ハウス作業】ハウス内では季節の鉢花育成を行っています。野菜と同様に一つの物を大切に育てていく気持ちを養う場でもあります。

【ハウス作業】育成した花や野菜は事業所前の売店で販売しています。冬期はその場で焼いた石焼き芋も販売しています。基本的に販売活動は利用者主体で行っています。ここではお金の計算からお金の大切さまでを学ぶことも目的としています。

【焼き芋販売】
冬期に事業所の売店にて石焼き芋の販売を行っています。お客様との交流を通じて販売の楽しみや大変さを感じながら行っています。

就労継続支援事業の一か月のおおよその工賃額は１７，０００円です。自主生産、委託業務を通じて室内作業・屋外作業とも自ら取り組んだ内容がその金額につながるのだと理解できるよう、工賃支給日には利用者にお話をしています。

【除草作業】
法人や各家庭に訪問し
敷地内の庭や駐車場の
除草作業を行っています。

５　施設の年間の行事

１月：二十歳を祝う会
（事業所多目的ホール）
　成人式対象者をお祝いする会。会の初めに新成人者を中心に餅つきを行い、ついたお餅を全体で食べながら会を進めています。

【目的】
・成人式の対象者に成人としての自覚を促していき、成人となった方を皆でお祝いをします。その中で成人者は大人としての自覚を再確認し、未成年者は成人とは何かを学んで頂きます。会の中で日本の伝統である餅つきを体験し、社会経験の一つとしています。

２月：施設外昼食
（埼玉県内のショッピングモール等）
　普段の昼食は給食の提供ですが、この日はグループ毎に利用者個々で食べたい物を決定し、食事場所を自分たちで探しだし、施設の外での昼食を実施しています。

【目的】
・献立のある給食ではなく、自らが選んだ昼食を施設外で食べにいきます。また、外食を楽しみつつ、外出先でのルール、マナーを学び、合わせて協調性も養える行事です

４月：入所式
（事業所多目的ホール）
　新規利用者の入所を施設全体で迎えお祝いする会で事業所の作業着支給等を行います。

【目的】
・社会人の一員としての自覚を持っていただくとともに、大谷事業所の一員として働く意識を持って頂きます。

４月：お花見ウォーキング
（さぎ山記念公園(さいたま市緑区)）
　事業所から近隣の公園まで桜を見ながら徒歩にて移動します(桜並木の中を歩きます)。

【目的】
・新入所者にとっては初めての行事となり、他の利用者との親睦を深めるための行事です。

９月：日帰り旅行
　数案の中から利用者の方が行きたい場所を決め、２つのグループに分かれて日帰り旅行に行きます。
事業所１０周年記念の旅行は２泊３日で北海道に行きました。

【目的】
・利用者間の親睦を計りながら日頃の仕事の労をねぎらう行事です。

１１月：ハロウィン
（多機能型大谷事業所）
　事業所内を装飾し、お昼は食べ放題を行います。また、利用者、職員がその時間はハロウィンの仮装をし楽しみます。

【目的】
・季節を感じながら、イベントを楽しむ行事です。

１２月：クリスマス会
（事業所多目的ホール）
　利用者の自治会(大谷友の会)が中心となり、ビンゴ大会などでクリスマスプレゼントをゲットします。
　この日の昼食は“クリスマスバイキング”と題してバイキング形式で食べ放題になります。

【目的】
・季節を感じながら利用者間での交流を深める行事です。

※コロナ禍では、内容、時間などを考慮し可能な範囲で活動を行っています。

見沼２

６　施設の自慢・特色

移行支援事業として報告、連絡、相談、適時の対応、一日を通して立ち仕事をする体力等を身に付けながら、職場環境を意識する取組みを行っています。また、就職するだけでなくその後の就労生活が充実できるかをポイントに就職後の生活についても意識作りを大切にしています。

利用者の自治会活動があり、二カ月に一度の全体会議を行っています。その他、行事等では利用者自治会の役員が中心となって活動し、事業所での生活についてルールを決めるなど話し合いを行ないます。

各種委員会活動を通じ、責任を持って与えられた仕事に取り組んで頂いています。
大谷事業所が実施している委員会は
・給食委員(利用者からのリクエストメニューについて、栄養士と話し合いを行う等)
・美化委員(地域清掃活動の準備、トイレスリッパの洗浄、水道周りの石鹸交換等実施)
・アルバム委員(行事ごとの写真をアルバムにまとめ、管理します)
・大谷だより委員(月一回発行の“大谷便り”作成の手伝いを行います)
・保健委員(加湿器、扇風機など季節ごとに使用する物の準備、手洗い消毒等の管理)
・環境整備委員(施設内で不具合があった時の対処など)
の６つです。

７　法人が運営しているその他の施設

社会福祉法人ななくさ

特別養護老人ホームえくぼ	
所在地	埼玉県越谷市
施設類型・定員数等	特別養護老人ホーム（100）